

実施計画事業名		広聴活動事業		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		生活福祉部市民生活課		課長(主幹)名	工藤 紳吉			
総合計画体系	分野	0	地域経営(自治)					
	政策	2	パートナーシップによるまちづくり					
	施策	1	市民の声を活かし開かれた市政を推進します					
	関連施策							
現状と課題	市民が市ホームページからのメールやファックス等で市政に対する意見や要望を気軽に寄せられる機会の増加を図ってきた。より幅広い市民の声を施策に反映するためには、広聴活動の周知をさらに図っていく必要がある。							
目的	市民意識や市民ニーズを反映した市政運営を行う。							
5ヶ年展の	メール・ファックス等により市民意識や市民ニーズの的確な把握に努めるとともに、まちづくり出前講座等を通じて、市民に市の考え方や取組みについて早く正確に伝え市政に対する理解を深めてもらうとともに、市民の意見を直接聴取する。また、各種広聴活動について、市民が気軽に意見を寄せられるよう、市民周知の工夫を図っていく。 ① 市長との懇談会(市長とふるさとトーク)の開催 ② 施設見学会の開催 ③ 市民の声専用FAX(愛称:気楽ックス)での意見・要望受付 ④ 市ホームページからの意見・要望受付 ⑤ まちづくり出前講座の開催							
成果指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	公開された審議会等参加人数		人	目標	250	250	250	
	説明	公開された審議会等に参加をした年間延人数		実績	266	191		
活動指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	広聴事業参加者数及び市民から寄せられた意見の数		件	目標	100	100	100	
	説明	市長との懇談会、施設見学会等の参加者数及び市民の声FAXやメール等に寄せられた市民からの意見の件数		実績	118	272		
	まちづくり出前講座の出前数		回	目標	150	170	210	
	説明	まちづくり出前講座を開催した年間延べ回数(学習講座編・施設見学編)		実績	104	88		
	公開された審議会等開催回数		回	目標	35	35	35	
	説明	公開された審議会等の年間開催回数		実績	30	28		
				目標	-	-	-	
			実績					
事業費の実績		単位	22年度(決算)	23年度(評価年度決算見込)	24年度(予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	0	0	0		
	国庫支出金		千円	0	0	0		
	道支出金		千円	0	0	0		
	起債		千円	0	0	0		
	その他		千円	0	0	0		
	一般財源		千円	0	0	0		
	この事業にかかる職員数		人/年	0.13	0.91	0.91		
人件費(B)		千円	883	6,328	6,328			
計(A+B)		千円	883	6,328	6,328			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 活動指標となっている「広聴事業参加者数及び市民から寄せられた意見の数」が昨年と比較して倍増しているが、震災がれきし受入れに関する意見メールが90件以上と急増したことによる。							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	b a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	b a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 団体等から要望があった場合に市長が出向く「ふるさとトーク事業」は、平成22年度以降は実績がなく、見直す必要がある。また、個人での希望者を募る「施設見学会」は、グループ・団体などから要望があった場合に実施する「まちづくり出前講座(施設見学編)」と目的・内容が似通っており、統合などについて検討する必要がある。
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	b a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要
	<bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 広聴活動は、幅広い活動であり、ホームページや広報紙などを活用して、より市政に関心を寄せてもらうとともに、より気軽に意見を寄せられるよう、各事業の実施時期や開催場所、内容の工夫を重ねる必要がある。
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	B 見直しの検討が必要
	<A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 本年度は、市民の声を直接聞き、まちづくりについて意見交換する場として、市民であれば誰でも参加できる「ふれあいトーク事業」を創設した。また、市民が市政に対する意見などを寄せられる機会として、従来のメールやファックス等に加え、市庁舎1階に「意見箱」を設置した。今後、さらに広聴機能を高めるため、上記「細事業の構成・進め方」に記載したとおり、細事業の見直しを進めるとともに、地域等へ職員が出向き、行政からの情報提供や地域の課題、要望の把握を行い、情報共有を図る仕組みの検討を行う。

【2次評価】

成 果	b	細事業の構成	b	細事業の進め方	b	コスト効率	a
総 合 評 価	B 見直しの検討が必要 <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおりとする。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--